

令和7年度指定管理者業務モニタリング評価表

施 設 名	商家「駒屋」
所 在 地	豊橋市二川町字新橋町21番地
指 定 管 理 者	特定非営利活動法人二川宿
指 定 期 間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
担 当 課	教育部美術・文化財課(0532-41-8580)
令和6年度指定管理料 (決算)	21,827,748円
令和7年度指定管理料 (決算見込)	22,534,511円

項 目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書に記載された業務について適宜実施され、施設の適切な維持管理が行われた。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	「蔵カフェ」での飲食サービスや「ふたこまや」での物品販売業務など、事業計画書のとおり自主事業が実施された。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	運営に必要な人員が配置され、適切に行われた。労働環境は関係法令等が順守され適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	事業計画書に提案されている研修が、実施されている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書等の個人情報保護規定に基づき個人情報が管理されており、職員に対する周知も徹底している。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	危機管理マニュアルに基づき、危機管理に対する取組がなされている。訓練もなされ、緊急時には二川宿本陣資料館への連絡を行うこととなっている。				
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	利用者の決定は、規則等に基づき適正に行われている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。 (利用状況を数値化して令和6・7年度を比較)		R5年度	R6年度	R7年度	比較(R7-R6)
			開館日数	312日	311日	311日	0日
			利用者数				
			a.	84,378人	82,125人	81,401人	▲ 724人
			b.				0人
			【要因分析】 夏季の高温による外出自粛や大名行列当日のJR終日運休の影響で、入館者数が微減した。				
	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	広報とよはしへの掲載、月ごとのイベント情報ちらし発行、SNS等で情報発信を行っている。「灯籠で飾ろう二川宿」「大名行列」に連携し、各種イベントを開催。また、カフェにおけるランチ等の価格を材料の見直しなどの工夫をし、お得に提供している。				
	利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	令和8年1月31日(土)～3月29日(日)まで独自のアンケート調査を実施 施設の満足度 満足 81% やや満足 13% 普通 4% やや不満 1% 不満 1% ・アンケート調査の結果を分析すると、満足・やや満足という回答94%を占め、利用者の満足度は高いと考えられる。				
	意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容			対応	
駐車場が少ない。			大駐車場の案内を掲示した。				
福よせ雛がとてもよかった。			今後も継続して開催予定。				
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	グッズを増やしてほしい。			売り切れていた御宿場印を復活させた。		
		適切・迅速な対応が行われている。					

管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に行われている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し適正に経理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画と乖離していなかったか。	昨年度に続き、物価・人件費が高騰しており、コスト削減により努力した収支状況となっている。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	22,128千円	指定管理事業費	36,466千円
			利用料金収入			
			自主事業収入	14,085千円		
	その他収入		29千円			
		収支差額		-224千円		

指定管理者の提案事業の実施状況	「灯籠で飾ろう二川宿」「大名行列」に合わせたイベントの開催したほか、「なごみ塾」において人気講座以外にも新規の講座を実施するなど、リピーターの獲得だけでなく新規の来訪者誘致も積極的に行った。
-----------------	---

当年度の対応方針	二川宿本陣資料館と相互に行き来できる新規の行事・イベントの開催、相互PRをするなど連携を強め、来訪者増につながるよう取り組んでほしい。また、ショップの売上向上のため、人気商品の新規販売、宣伝などをおこなって欲しい。
----------	---

指定管理者の自己評価	人件費や物価の高騰を受け、カフェの仕入れ見直しやメニュー改善、講座料の変更など、歳入確保に努めている。地域住民と連携して「灯籠で飾ろう二川宿」を盛り上げた。「和菓子作り(6回・計92名)」や「ウクレレ教室(2回・計47名)」など人気の講座の引き続きの開催に加え、「芍薬のコサージュ(1回・25名)」「豊橋筆づくり(1回・30名)」など新規の講座も積極的に開催した。展示関連のグッズの販売、SNSでの商品の紹介なども行い、ショップの売上向上にも努力した。
------------	--

総合評価	アンケート調査からはじめての来館が45%あり、新規の来館も増えていることが読み取れる。また、豊橋市内からの来館が50%を占めており、市民の遊びの場、交流できる集いの場を提供できていることが見え、好印象である。昨年に引き続き、諸物価・人件費が高騰している中、非常に努力して運営していることが伺える。
------	--

次年度の対応方針	令和8年度より使用料の値上げがあり、借り控えも予想されるため、より積極的にPRを進めてほしい。また、今後も夏季の高温、物価上昇等が懸念されるため、二川宿本陣資料館とは密に連絡を取り、運営を進めてほしい。
----------	---